

# 中学校国語B (主として「活用」に関する問題)

平成26年度  
全国学力・学習状況調査

## 問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題です。表現の技法とその効果、複数の資料を比較して読むこと、説明的文章を読み根拠を明確にして自分の考えを書くことなどが出題されています。

## 全体の正答率

\* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して  
0.8%上回っています

《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語B	51.8	51.5	51.0	+0.8

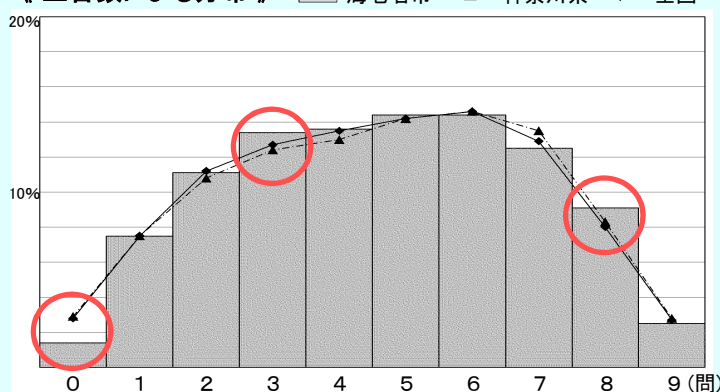


誤答の様子は…



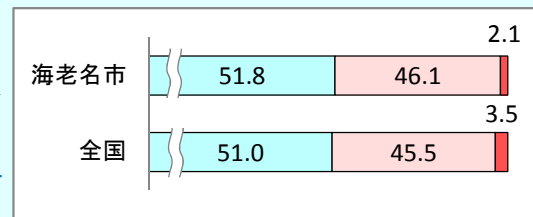
分布の様子は…

《正答数による分布》



《誤答の内訳(%)》

■ 正答 ■ 誤答(書いたが誤答だった)  
■ 無解答(何も書かなかった)



無解答率(何も書かなかった)は2.1%でした。

全国と比較すると  
正答数が3問、8問の生徒が多く  
正答数が0問の生徒が少ない  
ことがわかります

\* 正答率50%以下(0~4問)の生徒の割合は47.1%でした。(全国は46.7%)

\* 正答率80%以上(8~9問)の生徒の割合は11.6%でした。(全国は11.2%)

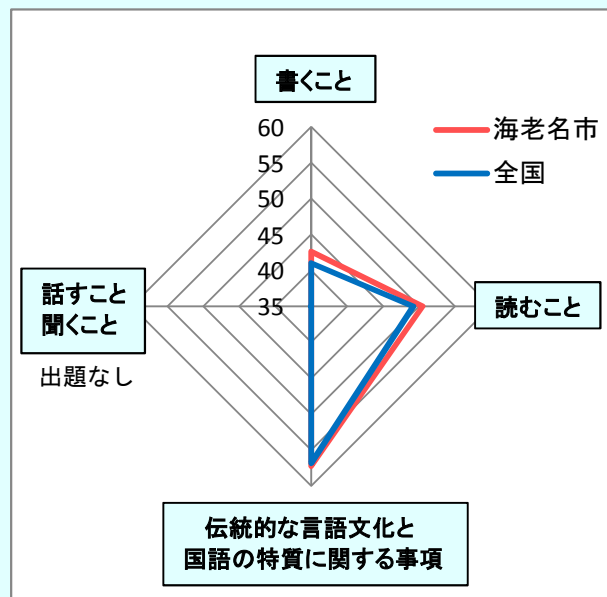
## 領域別の正答率

全領域において全国と比較して  
やや上回っています

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	この領域は今年度出題なし		
書くこと	42.6	41.0	+1.6
読むこと	50.5	49.2	+1.3
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	57.2	56.8	+0.4

\* 「書くこと」については、全国的に正答率が低い状況ですが、1.6%上回っていました。

\* 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、ほとんど差がありませんでした。



## 内容について

\* ( )内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った  
項目

- 複数の情報から必要な情報を読み取る。( +5.0)
- 落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く。( +4.0)
- 落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像する。( +2.5)

全国を下回った  
項目

- 表現の技法について理解する。( -3.7)
- 文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつ。( -2.1)

### 国語Bで平均正答率が全国を下回った設問の例

表現の技法として適切なものを選択する設問 (全国との比較-3.7)

- 「読書週間」の標語を整理した【早川さんのノート】(一部)を読んで答えなさい。  
【早川さんのノート】

…  
・風もページをめくる秋  
(表現の工夫とその効果) →  を使って、情景を豊かに想像できるようになっている。  
また、体言止めが使われ、秋が強調されている。  
…

【早川さんのノート】の  に入る言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 反復法      2 対句法      3 擬人法      4 倒置法      正答 3

☆国語Bのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

## 考 察

- ◆ 全国と比べて、すべての設問において無解答率が低いこと、また、正答数が0問の生徒が少ないことから、設問に粘り強く取り組む姿勢が見られる。
- ◆ 説明的な文章の読み取りにおいては、資料から必要な情報を的確に読み取ることができているが、文章の内容について自分の考えを持つことには課題が見られる。
- ◆ 表現の技法を理解して文章を書く力や、根拠を明確にして論理的な文章を書く力を高める必要がある。

## 指導の改善にむけて

- ◆ 「表現の技法の理解」のために
  - 習得した技法を活用して文章を書くように指導する。
  - 活用した技法の効果を生徒どうしで確かめ合う活動を取り入れ、指導する。
- ◆ 「根拠を明確にして論理的な文章を書く」ために
  - 文章中の言葉を使い、筋道を立てて自分の意見を書くことができるように指導する。
  - 説明的な文章において、文章構成に着目し、論理の展開を読み取るように指導する。